

北海道浮魚ニュース

平成 13 (2001) 年度 2 号 (通巻 No.95)

2001 年 5 月 15 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6222	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5997	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道西日本海スルメイカ資源動向

日本海区水産研究所から日本海南西部海域におけるスルメイカ稚仔の分布状況が発表されましたので、これを含めて道西日本海スルメイカ資源動向をお知らせします。

1) 漁獲量と漁船の CPUE・延隻数

2000 年 (昨年) の道西日本海のスルメイカ漁獲量は 28,288 トン (概数値) で、1999 年を下回ったものの、近年 (1989 年以降) の高水準を維持している (図 1)。

また、2000 年の小型いか釣り漁船の CPUE (1 隻 1 日当たりの漁獲尾数または重量) は、余市港および留萌支庁管内では前年並み、稚内港では前年を上回った (図 2)。延隻数は各港で減少し、特に稚内港で大きく減少した。このように漁獲量の減少には、漁船の操業隻数の減少が影響しているため、来遊資源量は大きく変化していないと考えられる。

2) 稚仔分布密度

毎年、秋季に日本海南西部海域で行われているスルメイカ稚仔調査の結果、2001 年 (今年) の漁獲対象となる 2000 年秋季の稚仔分布密度は、近年の高水準を維持している (図 3 : 日本海区水産研究所資料)。

以上から、道西日本海のスルメイカ資源状況は、近年 (1989 年以降) の比較的高い水準を維持していると考えられる。

(文責 : 中央水試資源管理部)

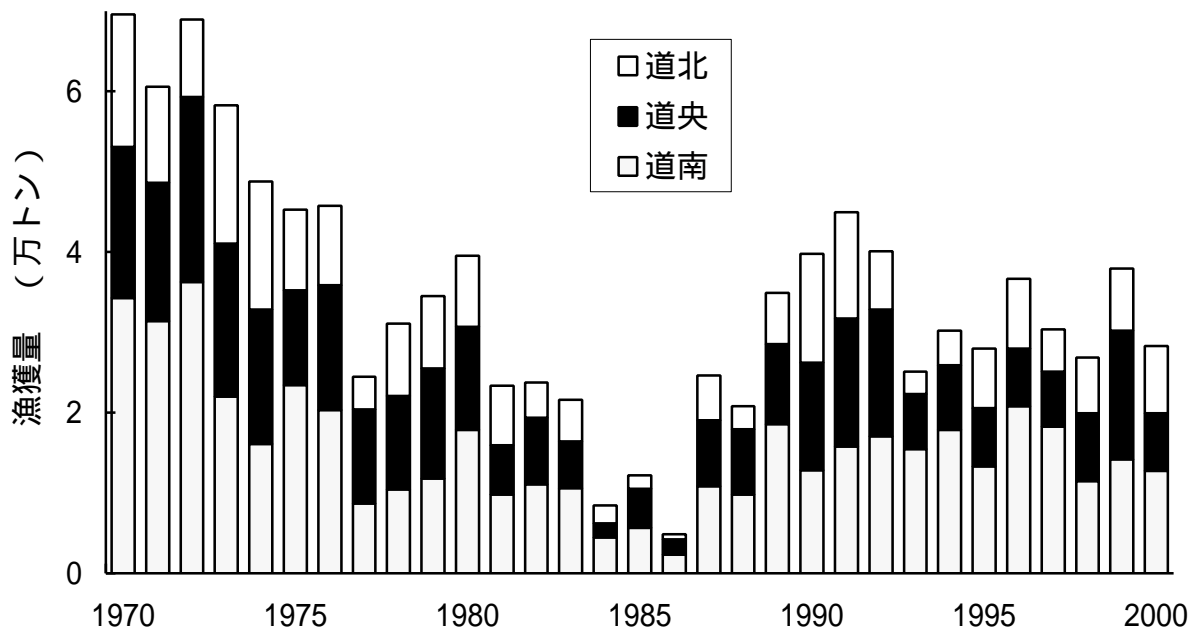


図 1 道西日本海におけるスルメイカ漁獲量の経年変化

注) 道南: 渡島 (松前・福島町のみ) ・檜山支庁、道央: 後志・石狩支庁、道北: 留萌・宗谷支庁

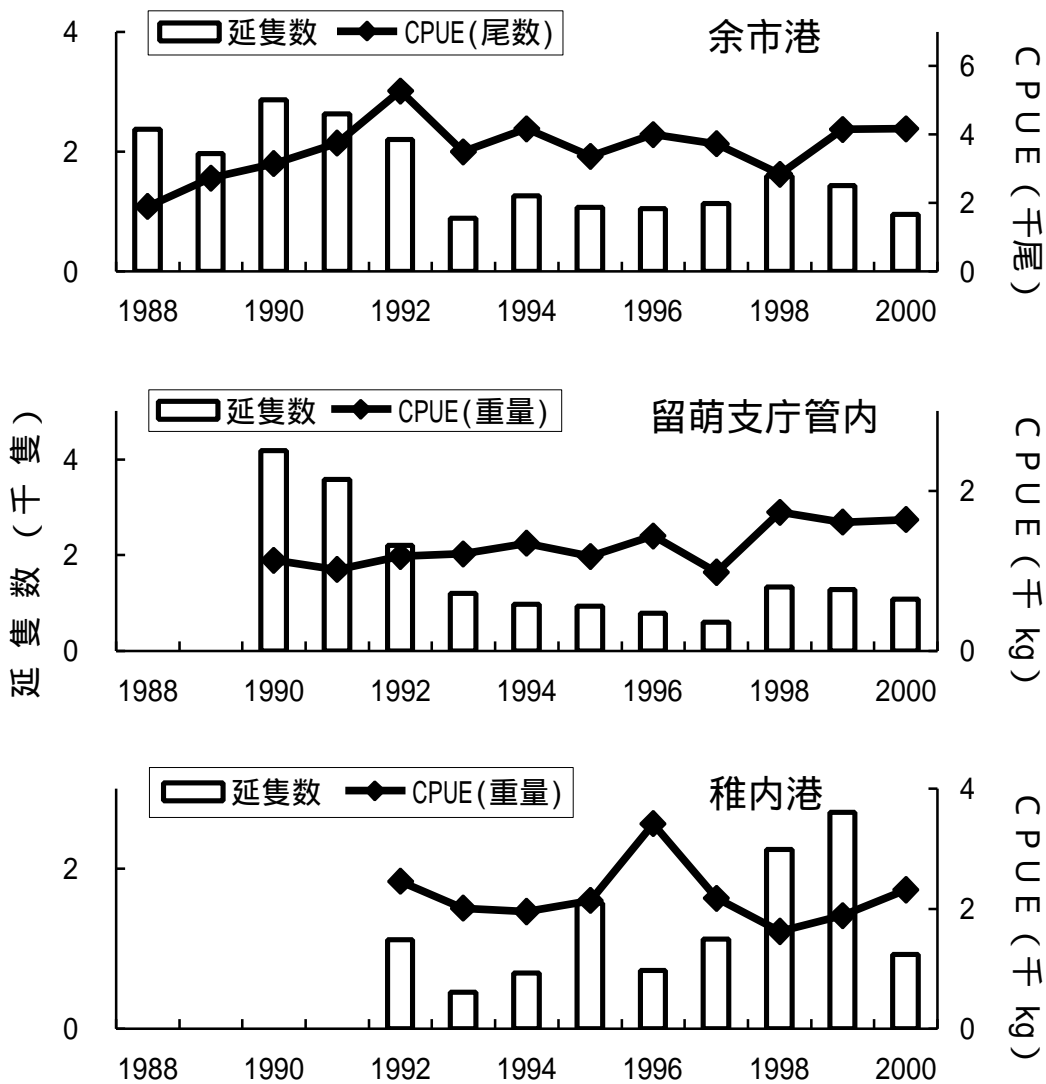


図2 道西日本海における小型いか釣船の水揚げ隻数とCPUE
 注) CPUE: 1隻1日当たりの漁獲尾数または重量(kg)

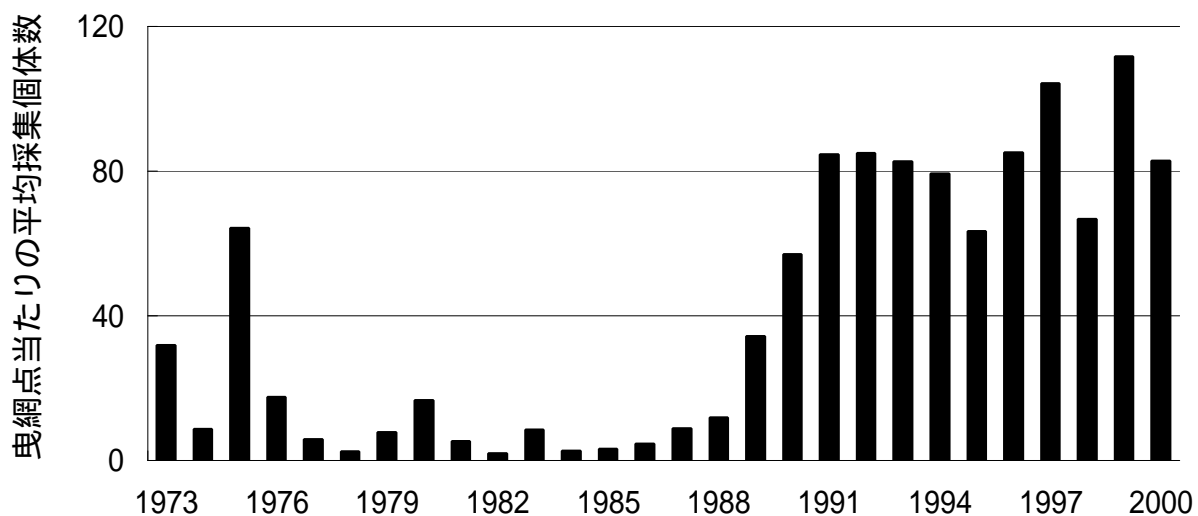


図3 日本海南西部における秋季のスルメイカ稚仔分布密度の経年変化(80Rネット)
 (日本海区水産研究所 資料)